

川崎市建築物環境配慮制度受付番号 24045

建築物名称	(仮称)ベルク川崎下作延店新築工事
建築主	株式会社ベルク 代表取締役社長 原島 一誠
建築物の所在地	川崎市高津区下作延5丁目1604-1の一部、他9筆
設計者氏名、建築士事務所名	中村 敏男 株式会社ディーエス設計 一級建築士事務所
工事種別	新築
床面積の合計	3,879.20㎡
用途	物品販売業を営む店舗、サービス業を営む店舗、診療所(患者の収容施設のないものに限る)
構造	鉄骨造
階数	地上2階
工事完了予定年月	令和8年1月
自然エネルギーの利用 (利用を検討した自然エネルギーの種類)	太陽光発電、太陽熱利用
自然エネルギーの利用 (利用を決めた自然エネルギーの種類)	なし

1-1 建物概要

建物名称	(仮称)ベルク川崎下作延店 新築工事
建設地	神奈川県川崎市高津区下作延5丁目1004-1の一部、他9筆
用途地域	工業地域、第一種住居地域、準防火地域
地域区分	6地域
建物用途	物販店
竣工年	2026年3月 予定
敷地面積	9,274 m ²
建築面積	3,496 m ²
延床面積	3,879 m ²

階数	地上2F
構造	S造
平均居住人員	1,254 人
年間使用時間	5,475 時間/年(想定値)
評価の段階	実施設計段階評価
評価の実施日	2020年12月19日
作成者	株式会社ディーエス設計
確認日	2020年12月19日
確認者	株式会社ディーエス設計

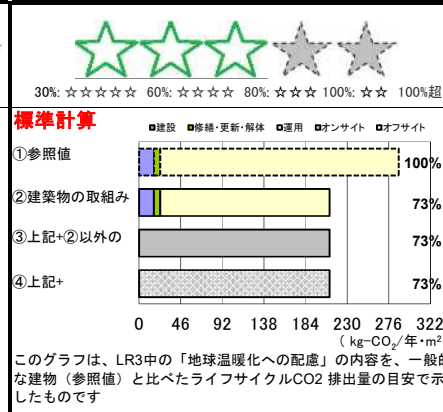
1-2 外観

24045

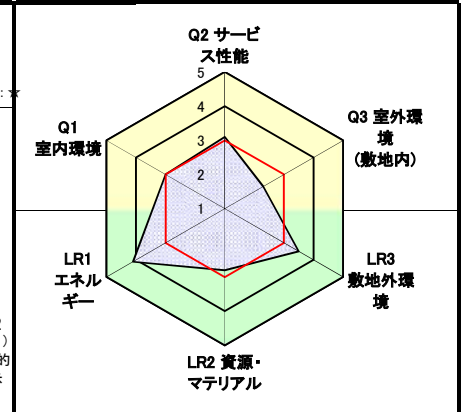
外観パース等

図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

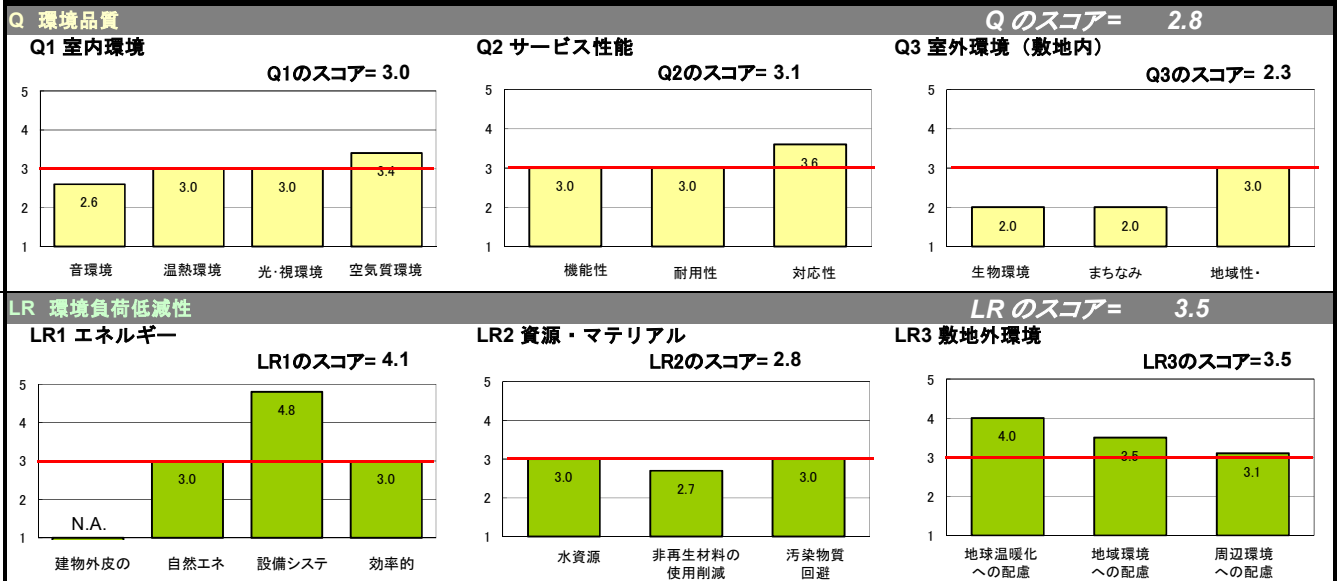
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

重点項目についての環境配慮概要		実績重点項目スコア 合計/ 重点項目最高点のスコア合計	重点項目への 貢献点 注) (5点満点)
内訳対応項目	各項目について配慮した内容を記述してください。		
緑の保全・回復(G)		Gの平均点	2.6
Q-3 ■ 室外環境(敷地内)対策			
1 生物環境の保全と創出			
2 まちなみ・景観への配慮		1.9/4.3	2.2
3 3.2 敷地内温熱環境の向上			
LR-3 ■ 敷地外環境対策			
2 2.2 温熱環境悪化の改善		0.5/0.8	3.0
地球温暖化防止対策の推進(W)		Wの平均点	3.0
Q-1 ■ 室内環境対策			
2 2.1 2.1.2 外皮性能		0.5/0.8	3.0
3 3.1 3.1.3 屋光利用設備			
3.2 3.2.1 屋光制御			
Q-3 ■ 室外環境(敷地内)対策			
1 生物環境の保全と創出		1.1/2.3	2.3
3 3.2 敷地内温熱環境の向上			
LR-1 ■ エネルギー対策			
1 建物外皮の熱負荷抑制	BEI=0.71	4.1/5.0	4.1
2 自然エネルギーの利用			
3 設備システムの高効率化			
4 効率的運用			
LR-2 ■ 資源・マテリアル対策			
1 水資源保護	節水コマなどに加えて、省水型機器などを採用している 躯体と仕上げ材が容易に分別可能となっている。	2.6/4.7	2.8
2 非再生性資源の使用量削減			
3 3.2 フロン・ハロンの回避			
LR-3 ■ 敷地外環境対策			
2 2.2 温熱環境悪化の改善		0.5/0.8	3.0
資源の有効利用による循環型地域社会の形成(R)		Rの平均点	3.2
Q-2 ■ サービス性能対策			
2 2.2 部品・部材の耐用年数	主要な内装仕上げ材の更新間隔は20年以上とした。 主要な用途上位3種の、2種以上にB以上を使用し、Eは不使用。	0.3/0.5	3.6
LR-2 ■ 資源・マテリアル対策			
1 水資源保護	節水コマなどに加えて、省水型機器などを採用している 躯体と仕上げ材が容易に分別可能となっている。	2.2/4.0	2.8
2 非再生性資源の使用量削減			
LR-3 ■ 敷地外環境対策			
2 2.3 地域インフラへの負荷抑制	適切な量の自転車置き場及び駐車スペースの確保。荷捌き用車両駐車施設の確保。	0.3/0.4	3.3
ヒートアイランド現象の緩和(H)		Hの平均点	3.1
Q-3 ■ 室外環境(敷地内)対策			
1 生物環境の保全と創出		1.1/2.3	2.3
3 3.2 敷地内温熱環境の向上			
LR-1 ■ エネルギー対策			
1 建物外皮の熱負荷抑制	BEI=0.71	4.1/5.0	4.1
2 自然エネルギーの利用			
3 設備システムの高効率化			
4 効率的運用			
LR-3 ■ 敷地外環境対策			
2 2.2 温熱環境悪化の改善		0.5/0.8	3.0

注)重点項目に該当する評価項目の得点(重み係数付)を集計し、当該項目の最高点の合計に対する貢献度を示した点数。

重点項目への貢献点の平均点 3.0

ライフサイクルCO2評価対象項目についての環境配慮概要		実績スコア合計/ 最高点のスコア合計	ライフサイクル CO2評価対象 項目への 貢献点 注) (5点満点)
内訳対応項目	各項目について配慮した内容を記述してください。		
建設段階			
Q-2 ■ サービス性能対策 2 2.2 2.2.1 躯体材料の耐用年数		0.1/0.1	3.0
修繕・更新・解体段階			
LR-2 ■ 資源・マテリアル対策 2 2.2 既存建築躯体等の継続利用 2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		0.8/1.3	3.0
運用時のエネルギー			
LR-1 ■ エネルギー対策 1 建物外皮の熱負荷抑制 2 自然エネルギーの利用 3 設備システムの高効率化 4 効率的運用	BEI=0.71	4.1/5.0	4.1

注)ライフサイクルCO2評価対象項目に該当する評価項目の得点(重み係数付)を集計し、当該項目の最高点の合計に対する貢献度を示した点数。

スコアシート		実施設計段階								
配慮項目	重点項目				環境配慮設計の概要記入欄					全体
	G	W	R	H		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質										2.8
Q1 室内環境							0.40		-	3.0
1 音環境						2.6	0.15		-	2.6
1.1 室内騒音レベル					—	3.0	0.40	-	-	
1.2 遮音					—	3.0	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能					—	3.0	1.00	-	-	
2 界壁遮音性能					—	-	-	-	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					—	-	-	-	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					—	-	-	-	-	
1.3 吸音					—	1.0	0.20	-	-	
2 温熱環境						3.0	0.35	-	-	3.0
2.1 室温制御					—	3.0	0.50	-	-	
1 室温		W			—	3.0	0.50	-	-	
2 外皮性能					—	3.0	0.17	-	-	
3 ゾーン別制御性					—	3.0	0.33	-	-	
2.2 湿度制御					—	3.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式					—	3.0	0.30	-	-	
3 光・視環境						3.0	0.25	-	-	3.0
3.1 昼光利用					—	3.0	0.50	-	-	
1 昼光率					—	-	-	-	-	
2 方位別開口					—	-	-	-	-	
3 昼光利用設備		W			—	3.0	1.00	-	-	
3.2 グレア対策					—	-	-	-	-	
1 昼光制御		W			—	-	-	-	-	
3.3 照度					—	-	-	-	-	
3.4 照明制御					—	3.0	0.50	-	-	
4 空気質環境						3.4	0.25	-	-	3.4
4.1 発生源対策						4.0	0.50	-	-	
1 化学汚染物質					F☆☆☆☆をほぼ全面的に採用。	4.0	1.00	-	-	
4.2 換気					—	2.0	0.30	-	-	
1 換気量					—	3.0	0.50	-	-	
2 自然換気性能					—	-	-	-	-	
3 取り入れ外気への配慮					—	1.0	0.50	-	-	
4.3 運用管理						4.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視					—	3.0	0.50	-	-	
2 喫煙の制御					喫煙ブースなど、非喫煙者が煙に曝されないような対策が十分に取られている。	5.0	0.50	-	-	
Q2 サービス性能						—	0.30	-	-	3.1
1 機能性						3.0	0.40	-	-	3.0
1.1 機能性・使いやすさ					—	3.0	0.40	-	-	
1 広さ・収納性					—	-	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応					—	-	-	-	-	
3 バリアフリー計画					—	3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性						3.0	0.30	-	-	
1 広さ感・景観					売場の天井高3.6m以上。	5.0	0.33	-	-	
2 リフレッシュスペース					—	3.0	0.33	-	-	
3 内装計画					—	1.0	0.33	1.0	-	
1.3 維持管理						3.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計					—	3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保					—	3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性						3.0	0.30	-	-	3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振					—	3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)					—	3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能					—	3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数			R			3.6	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数			R		—	3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔			R		床:塩ビタイル・ビニル床シート、壁:ビニルクロス貼、天井:ボード類	3.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔			R		—	5.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔			R		硬質塩化ビニル管、銅管	3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔			R		—	5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔			R		—	3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性						2.4	0.20	-	-	
1 空調・換気設備					—	3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備					—	2.0	0.20	-	-	
3 電気設備					—	3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法					—	1.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備					—	3.0	0.20	-	-	

3	対応性・更新性								3.6	0.30	-	-	3.6
	3.1 空間のゆとり								5.0	0.30	-	-	
	1 階高のゆとり							3.9m以上	5.0	0.60	-	-	
	2 空間の形状・自由さ							[壁長さ比率] < 0.1	5.0	0.40	-	-	
	3.2 荷重のゆとり							—	3.0	0.30	-	-	
	3.3 設備の更新性							—	3.0	0.40	-	-	
	1 空調配管の更新性							—	3.0	0.20	-	-	
	2 給排水管の更新性							—	3.0	0.20	-	-	
	3 電気配線の更新性							—	3.0	0.10	-	-	
	4 通信配線の更新性							—	3.0	0.10	-	-	
Q3	室外環境(敷地内)								—	0.30	-	-	2.3
	1 生物環境の保全と創出				G	W		H	—	2.0	0.30	-	2.0
	2 まちなみ・景観への配慮				G				—	2.0	0.40	-	2.0
	3 地域性・アメニティへの配慮								3.0	0.30	-	-	3.0
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上								3.0	0.50	-	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上				G	W		H	—	3.0	0.50	-	
	LR 建築物の環境負荷低減性								—	-	-	-	3.5
	LR1 エネルギー								—	0.40	-	-	4.1
	1 建物外皮の熱負荷抑制					W		H	—	-	-	-	-
	2 自然エネルギー利用					W		H	—	3.0	0.13	-	3.0
3	設備システムの高効率化					W		H	BEI=0.71	4.8	0.63	-	4.8
	4 効率的運用								3.0	0.25	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価								3.0	1.00	-	-	
	4.1 モニタリング					W		H	—	3.0	0.50	-	
	4.2 運用管理体制					W		H	—	3.0	0.50	-	
	集合住宅の評価								-	-	-	-	
	4.1 モニタリング					W		H	—	-	-	-	
	4.2 運用管理体制					W		H	—	-	-	-	
	LR2 資源・マテリアル								—	0.30	-	-	2.8
	1 水資源保護					W	R		3.0	0.20	-	-	3.0
2	1.1 節水								3.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用								3.0	0.60	-	-	
	1 雨水利用システム導入の有無								3.0	0.70	-	-	
	2 雑排水等利用システム導入の有無								3.0	0.30	-	-	
	2 非再生性資源の使用量削減								2.7	0.60	-	-	2.7
	2.1 材料使用量の削減					W	R		3.0	0.11	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用					W	R		3.0	0.22	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用					W	R		3.0	0.22	-	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用					W	R		1.0	0.22	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材					W	R		-	-	-	-	
3	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み					W	R		4.0	0.22	-	-	
	汚染物質含有材料の使用回避								3.0	0.20	-	-	3.0
	3.1 有害物質を含まない材料の使用								3.0	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避								3.0	0.70	-	-	
	1 消火剤					W			-	-	-	-	
	2 発泡剤(断熱材等)					W			3.0	0.50	-	-	
	3 冷媒					W			3.0	0.50	-	-	
	LR3 敷地外環境								—	0.30	-	-	3.5
	1 地球温暖化への配慮					W			CO2排出率73%。	4.0	0.33	-	4.0
	2 地域環境への配慮								3.5	0.33	-	-	3.5
2	2.1 大気汚染防止								5.0	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善				G	W		H	3.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制								3.0	0.25	-	-	
	1 雨水排水負荷低減						R		3.0	0.25	-	-	
	2 汚水処理負荷抑制						R		3.0	0.25	-	-	
	3 交通負荷抑制						R		4.0	0.25	-	-	
	4 廃棄物処理負荷抑制						R		2.0	0.25	-	-	
	3 周辺環境への配慮								3.1	0.33	-	-	3.1
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止								3.0	0.40	-	-	
	1 騒音								3.0	1.00	-	-	
3	2 振動								-	-	-	-	
	3 悪臭								-	-	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制								3.0	0.40	-	-	
	1 風害の抑制								-	-	-	-	
	2 砂塵の抑制								-	-	-	-	
	3 日照阻害の抑制								3.0	1.00	-	-	
	3.3 光害の抑制								3.7	0.20	-	-	
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策								4.0	0.70	-	-	
	2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策								3.0	0.30	-	-	
	広告物照明を行っていない。								-	-	-	-	

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1.3.1 維持管理に配慮した設計	3.0		○	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
1.3.2 維持管理用機能の確保	5.0		-	○	-	○	-	○	○	-	-	-	-	-	-
2.4.1 空調・換気設備	-		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.2 給排水・衛生設備	1.0	1.0	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.3 電気設備	2.0	1.0	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.5 通信・情報設備	2.0		○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	6.0		-	-	3.0	-	1.0	-	1.0	-	-	1.0	-	-	-
2 まちなみ・景観への配慮	1.0		-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	2.0		-	-	-	-	-	-	1.0	1.0	-	-	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	7.0		-	2.0	2.0	3.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.1 材料使用量の削減	1.0		-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	1.0		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 有害物質を含まない材料の使用	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	11.0		1.0	-	3.0	3.0	3.0	-	-	1.0	-	-	-	-	-
2.3.3 交通負荷抑制	3.0		1.0	-	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	2.0		-	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.2.2 砂塵の抑制	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	3.0		1.0	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

主な指標

Q1 室内環境

2.1.3 外皮性能

窓システムSC- 窓の日射熱取得率(η)-

U値(W/m2K) 窓システム-

屋根-

外壁-

床-

住戸部分システムU値-

外皮UA値-

ηAC-

ηAH-

昼光率 0.0%

自然換気有効開口比 0.0%

4.2.2 自然換気性能

Q2 サービス性能

1.1.1 広さ・収納性

執務スペース .0㎡/人 病床 .0㎡/床 シングル .0㎡ ツイン .0㎡

1.1.2 高度情報通信設備対応

コンセント容量 0.0 VA/㎡

1.2.1 広さ感・景観

天井高 3.9 m

1.2.2 リフレッシュスペース

リフレッシュスペース 0.0% レストスペース 0.0%

2.2.1 躯体材料の耐用年数

想定耐用年数 0 年

2.2.2 外壁仕上材の補修必要間隔

想定必要間隔 0 年

2.2.3 主要内装仕上材の更新必要間隔

想定必要間隔 20 年

2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔

想定必要間隔 0 年

3.1.1 階高のゆとり

階高 4.9 m

3.1.2 空間の形状・自由さ

壁長さ比率 8.1%

3.2 荷重のゆとり

床荷重 - N/m2

Q3 室外環境(敷地内)

1 生物資源の保全と創出

外構緑化指数 67% 建物緑化指数 0%

3.2 敷地内温熱環境の向上

空地率 0% 水平投影面積率 20% 地表面対策面積率 51% 舗装面積率 43%

LR1 エネルギー

1 建物外皮の熱負荷抑制

BPI/BPI_m 1.12 断熱等性能等級 等級2 相当

2 自然エネルギー利用

自然エネルギー直接利 0 MJ/年㎡

採光を満たす教室数 0.0% 採光を満たす住戸数 0.0%

通風を満たす教室数 0.0% 通風を満たす住戸数 0.0%

3 設備システムの高効率化

BPI/BPI_m 非住宅 0.71 住宅 - 太陽光 .0kW 太陽熱等 .0kW 蓄電池 .0kW

LR2 資源・マテリアル

1.2.1 雨水利用システム導入の有無

雨水利用率 0.0%

2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用

特定調達品E - エコマーク商品 - 自治体指定の特定品目等 -

2.5 持続可能な森林から産出された木材

使用比率 0.0%

3.2.1 消火剤

オゾン層破壊係数(C) 地球温暖化係数(GWP)

3.2.2 発泡剤(断熱材等)

オゾン層破壊係数(C) 地球温暖化係数(GWP)

3.2.3 冷媒

オゾン層破壊係数(C) 地球温暖化係数(GWP)

LR3 敷地外環境

2.2 温熱環境悪化の改善

見付面積比 #DIV/0!棟間隔指標Rw-

地表面対策面積率 78.0% 屋根面対策面積率 #DIV/0! 外壁面対策面積率 1.0%

見付面積Sb ㎡ 越風向と直交する最大敷地幅Ws 0 m 基準高さHb 0 m

緑地 ##### 水面 ㎡ 保水性対策面 ㎡ 高反射対策面 ㎡ 再帰性反射対策面 ㎡